

今尾やすのり議員一般質問

子どもの権利擁護実現に

「こども・若者計画」の研修実施を



12月9日、今尾やすのり議員は、市の責任で、学童保育の充実に「こども・若者計画」の研修の実施を、について一般質問をおこないました。

幸せを思い描ける
まちの実現

昨今、保育士などによる「不適切な保育」が問題となっ
ています。

春日部市でも学童保育所
の中で、こうした状況に近
い問題が起きました。

春日部市では、今年度から「春日部市こども・若者計画」が策定され、庁内研修を皮切りに「大人の意識改革」やファシリテーター育成などが行なわれていま
す。

この計画の基本理念は「すべてのこども・若者の権利が守られ、それぞれのしあわせを思い描くことができる、そして叶えることができるまちの実現」です。
一方、学童保育の指定管理者3者による研修の状況を
確認すると、それぞれの指定管理者が、「こどもの声に耳をかたむける」「不適切な保育とは」「こどもの権利と安全」「虐待・体罰について」などの研修が

行なわれていることがわかりました。

こうした中で、今回一部の支援員により、子どもに対する恫喝と罰則という形での問題が起きました。

研修の実施を
積極的に進める

今尾議員は、「春日部市が策定したこども・若者計画では、子どもの声を受け止める大人の意識改革が大変重要なカギを握っています。市の責任において、まずは学童保育所から、この理念の研修を行なっていくべきではないか」と質しました。

こども未来部長は、「計画に基づいた研修について重要であると捉え、こどもの権利条約を理解し、こどもの意見を大切にするため、計画に基づいた研修を指定

管理者と連携して積極的に進めてまいります」と前向きな答弁をしました。

岩谷市長も、「こどもの最善の利益を守り、人権・個性・主体性などを尊重しながら引き続き計画の推進を進めてまいります」と答えました。

今尾議員は「厚労省の放課後児童クラブ運営指針では『子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら子どもが自ら危険を回避していくとともに、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確率等により、子どもの健全な育成を図ることを目的とする』としています。市が主導して子どもの権利擁護の推進を」と重ねて求めました。

市立医療センター TEL 735-1261 (土・日・祝の昼間と夜間毎日) 内・外小児救急電話相談 #7119

12/14(日) 内科系 脳神経内科・内科もてぎ医院 (中央8-8-9) ☎737-5151 小児科系 春日部在宅診療所ウエルネス (内牧3701-1エミナース1階) ☎792-0772 外科系 梅原病院 (小淵455-1) ☎752-2152

12/21(日) 内科系 悠翔会在宅クリニック春日部 (中央1-1-8 3階) ☎760-3477 小児科系 春日部ふじばなファミリークリニック (イオンモール春日部内) ☎797-8027 外科系 ようこ皮フ科 (大沼2-62-24) ☎612-3555